

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 328

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 2. 予防費 現年		
事業名	各種検診事業				
細事業名	各種検診事業				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	小林 早苗

1. 事業の概要

各種検診を実施。
 （肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、前立腺がん検診、結核検診、骨密度検診、じん肺検診）
 女性特有のがん検診推進事業を実施。
 （20歳～40歳節目の女性：子宮頸がん検診、40歳～60歳節目の女性：乳がん(マンモ併用)検診を実施）

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

市民が自分の健康を自分で守り健康で自立した生活を続けていく為に、がん等の生命に係る重大な疾病の早期発見・早期治療を実現する。
 また、女性特有のがん(子宮がん、乳がん)が増加傾向にあり、好発年齢の女性をターゲットに検診の受診アップを図るために実施。

② 事業を実施する必要性

がん等の生命や日常生活に係る重大な疾病を早期発見し、早期に治療につなぐことで、市民の日常生活や健康を守ることになり、実施する必要がある。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	35,358	37,601	41,012	46,755	46,378	47,000	47,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	54	37	130	130	130
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	1,083	2,011	3,535	1,806	1,950	1,950	1,950
国・府支出金	千円	0	0	20,726	19,803	2,634	2,634	2,634
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	34,275	35,590	16,750	25,146	41,794	42,416	42,416
職員等の従事人員	人/年	—	0.59	0.63	1.00			
人件費	千円	—	3,725	4,192	5,496			
事業費総額	千円	—	41,326	45,149	52,214			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

各がん検診等実施費用46,754,562円（賃金、需用費、役務費、委託料、扶助費）

5. 事業結果の概要

女性特有のがん検診推進事業で実施した乳がん・子宮がん検診については、受診者数が増加しただけでなく、これまで未受診だった方が受診に結びつくという効果があった。また、乳がん検診実施医療機関を1ヶ所から3ヶ所に広げて実施。
 肺がん・結核検診受診 3,525人
 胃がん検診 2,092人
 大腸がん検診 3,068人
 前立腺がん検診 1,129人
 乳がん検診 1,401人

子宮がん検診	2,508人
骨密度健診	457人
じん肺健診	18人

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

女性特有のがん検診事業は、新たな受診者増につながったが、全体的な受診率は横ばい傾向である。更なる未受診者対策が必要である。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

女性特有のがん検診、前立腺がん検診を除く全てのがん検診において受診者数が前年度実績を下回り、受診率が低下した。よりPRに努める必要がある。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
安全で受診しやすい健診体制確立に向けて、担当者・業者との協議を行った。
- ②当該事業のアピール事項
合併前から各町ともセット健診を実施しており、当市の各がん検診受診率は京都府でも高い。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
各がん検診後の要精密健診受診率が低い状況である。訪問等対応で精密健診受診率向上に努めたい。